

エコプロダクツ

市内で緑化、里山再生事業

東京の企業が特別賞

休眠状態の種を
種育て活用 「山を理解し考えて」



休眠状態だった種の成長具合を確認する
鈴木社長(左)と下多賢(6月9日撮影)

エコビジネス支援などを行う環境ビジ

ネスエージェンシー(東京都千代田区、

鈴木敦子社長)などが熱海市下多賢で取

り組む、都市の緑化と里山再生を目指す

事業「アーバン・シード・バンク・プロ

ジェクト」が、第12回エコプロダクツ大

賞の審査委員長特別賞(奨励賞)を受賞

した。10日、江東区の東京ビッグサイト

で開かれるエコプロダクツ展2015で

表彰される。

プロジェクトは下多物多様性向上を図る。

賀の里山を利用して6 エコプロダクツ展は

月から始めた。荒廃し 日本最大級の環境展示

た里山に眠る日本在来 会。同大賞は環境負荷

の木の種を用いた事 の低減に配慮した優れ

業。休眠状態の種を育 た製品・サービス(エ

て苗にしてから都市緑 コプロダクツ)を表彰

化に活用、里山や周辺 すること、エコプロ

地域の再興と都市の生 ダクツの普及を図るた

め2004年に創設さ
れた。奨励賞は中小企
業からの応募を対象に
3件が選ばれた。

鈴木社長は「受賞を
機に多くの人、特に行
政に山のことを理解し
てもらい地元の里山の
再生、活用について考
えてほしい」と話した。